

# 死ね!!

201216

『死ね!!』と言っている!!  
官僚ドモが、笑いながら、首を切られた『失業者』に対し『死ね』と言っている!!

メディアが連日『失業対策』云々を口先では言っているが、それは単なる付和雷同の『方便』として、ご多分に漏れず言っているだけで、『実』のない『虚』な御託（他人事）でしかないのである。『失業』は『災害』なのだ。この認識が、国にも国民にも、政治家にもメディアにも、特に官僚ドモに『ない』のである。『災害』は緊急事態であって、予算や法案を云々している問題ではないのだ!!『死活問題』なのだ!!

『失業』は『災害』なのだ!! 『災害』とは「異常な自然現象や人為的原因によって、人間の社会生活や人命に受ける被害」（広辞苑）であり、所謂、不時の災いである。地震等の天災の時、被災者に対し、国も国民も、政治家もメディアも、或は、業突張りの官僚ドモでも、『支援』そして『義援』を実際に行うのである。

例えば、避難所の提供や、仮設家屋の提供等であり、且つ又、日赤等を通じて、『義援金』の募金である。ところが、天災（地震等）よりも、もっと酷い『首切り』という『人災』に対しては、避難所や仮設家屋の提供はおろか、『義援金』の募金活動など、『皆無』なのである。一体、この矛盾した社会現象は何なのか？

『首切り』とか『失業』とかは、『災害・人災』という『認識』が、国、政治家、メディア、そして特に官僚ドモには『ない』のだ。阪神淡路大震災の時でも山口組の炊き出しの方が先だった。行政の対応は常に遅い!!

この『首切り人災認識』の『皆欠如』は、独占資本主義社会における『競争原理主義』の洗脳の産物なのだ。洗脳された国民は『独占資本』のおどろおどろが何も判らない。『明日は我が身』が判ってないのである。

独占資本の最終段階である『金融帝国』の段階は、『証券投機』で利益を得ようとする、証券化及び証券家の時代であって、売買対象資産は悉く『証券化』され、その証券化された『証券』を、国民は、証券家（証券会社・証券セールスマン・証券ブローカー・証券ゴロ等々他）に騙されて買われる時代なのだ。

物の『創造』より、物の『想像』（売れる筈の期待感）が『証券化』され、バーチャルの『物』（証券／紙くず）となって売買されているのである。ここでは、無産階級である『失業層』の方々は、証券投機に投資する『投機資金』がないから参加できず、その上の、中産階級である『就業層』の方々も、家のローンを払い、子供を進学させるのが精一杯で、とても証券投機に投資する『投機資金』などないのだ。いい例がドバイである。

どの国でも国民の大多数は、中産階級（就業層）と無産階級（失業層）である。この層が『納税者』なのだ!!つまり国の『税収・歳入』は、大多数である就業層と失業層に、奴隷労働をさせて、『物』という『売買対象物』を作らせ、その『物』を『証券化』し『金融商品』として『金融市場』で、投機的に売買し『利鞘』を稼ぐために、陰謀・権謀の術策・画策を繰り広げ、挙句の果ては、『市場戦争』に突入して『戦争』になるのである。税収は紛れもない国民の『汗と涙と血』の結晶であって、『血税』そのものなのである。

要するに一部の資産階級（富豪層）と有産階級（富裕層）の『独占支配欲』の『投機』が原因で、不況や恐慌、そして戦争まで起こるのだ。

『首切り』と『失業』は『革命』や『戦争』の予兆であって、いわば人間史（戦争史）の必然現象である。つまり『首切り』や『失業』は、『独占資本主義』の『戦争』と同じ『人災』なのである。

人類が減びるのは、人類による『化学』によってである。その『化学』は『証券化』されて、今『証券市場』で、毎日売買されている。『戦争』は古来より『市場』の争奪戦であって、『市場』はもともと『無法地帯』（弱肉強食）なのだ。

人間（支配層）が作った不権衡な『制定法』は全て『支配者』の、官僚・宦官・貪吏が作った『就業層失業層支配法』で、『反自然法』の最たるものであり、俗に言う『悪魔の聖書』なのである。

大多数の大衆・国民は、『自然法』（権衡法）を勉強して、不権衡な『制定法』と言う『悪魔の聖書』を駆逐しなくては、この世に『平和』と『安堵』の『弥栄』は永遠にないのである。ならば、『自然法』（権衡法）とは何か!!である。

『自然法』（権衡法）とは、①、『万人対等』 ②、『万人家族』 ③、『万人幸福』を、自然界に見る生類の『不快を避け、快然自足を乞う生態』の延線上にある『あるべき姿』（原理）として捉え、市民法の三大基本原則である、①『公序良俗の原則』、②『信義誠実の原則』、③『権利濫用禁止の原則』を『処方箋』として

『敷衍』した『格差・偏差』のない『権衡・バランス』のとれた『憲法・法律』〔絶対多数決原理（少なくとも三分の二以上の議決）に基づく、木目の細かい真正制定法〕による『真正法治』である。

この『自然法・権衡法』に基づく『真正法治』の国家形態にしない限り、『首切り』も『失業』も『不況』も『戦争』も無くならないのだ!!『不権衡』は全てにおいて『不健康』なのである。

こういう『自然法・権衡法』の『真正法治国』の建設は、該建設の強固な反対者・官僚ドモとの『決戦』（決闘）を俟つしかないのだ。我ら、大義の府 日本義塾は『[逆賊・二階組を討て](#)』の通り、官僚ドモに『決闘』を挑む次第である。

大多数の『就業層・失業層』の方々は、路頭に迷ったら『死ね』と、麻生無能政権と、その悪徳官僚ドモに言われているのだ。特に官僚ドモ『血税私腹主義者』は、ビター文『首切り』『失業』と言う『人災』に対し出す気がないのである。更に言う。天災よりひどい『首切り』『失業』と言う、酷い『人災』に対し、避難所も避難場所も提供しない、況や仮設家屋も義援金の募集すらしない、為政者・官僚ドモ・メディア・富裕層・富豪層の輩達は、自分達が『怨敵』として『標的』に曝されていることを知るべきである。

何故なら、この世を支配する『法の法』は『talioの呪縛』だからである。

## 大義の府 日本義塾 新村 紘宇二

<http://gijyuku.634tv.com> [gijyuku@634tv.com](mailto:gijyuku@634tv.com)